

1. 「恐れるな。わたしはあなたとともにいる。たじろぐな。わたしがあなたの神だから。わたしはあなたを強め、あなたを助け、わたしの義の右の手（勝利の手、救いの手）で、あなたを守る」イザヤ41：10。この15年間、神は、当教会を力強い御手で守り導いて来られたことを感謝します。私たち一人一人にも、いつも共にいて下さり、この最高の励ましの御言葉を語り掛け、倒れそうになる私達を強め助けて下さっている恵みを感謝します。

2. 「わがたましいよ。主をほめたたえよ。主の良くてくださったことを何一つ忘れるな」詩篇103：2。神は、15年前の最初から、この土地と建物を与え、落ち着いて神を礼拝できる場所を与えて下さった恵みを心から感謝します。多くの教会の開拓は、初めは借地から始まる。大家さんの都合で転々とする事もある。何年もかかって祈りつつ土地が与えられ、会堂建築がなされる。それぞれに神のご計画がある。当教会の場合は、最初から神を礼拝し互いに交わり祈り合える会堂が与えられた。当たり前的事ではないと自覚し、深く感謝したい。どこの教会も駐車場の問題がある。主の憐みで、お隣と良い関係で、駐車できて礼拝に参加できることも深く感謝したい。

3. 神は、この15年間、働き人、共に教会を建て上げる人々、主を信じて救われる人々を起こし続けておられる恵みを感謝したい。「実りは多いが、働き人が少ない。だから収穫の主に、収穫のために働き手を送ってくださるよう祈りなさい」ルカ10：2。「キリストご自身が…ある人を伝道者、ある人を牧師、教師として、お立てになったのです。それは、聖徒たちを整えて、奉仕の働きをさせ、キリストのからだ（教会）を建て上げるため」エペソ4：11、12。一人一人の教会員が加えられ、互い愛し合い、仕え合い、与えられた賜物を主が用いられ主の教会が建て上げられ続けている恵みを感謝します。「キリストによって、からだ全体は、一つ一つの部分がその力量にふさわしく働き力により、また、備えられたあらゆる結び目によって、しっかりと組み合わされ、成長して、愛のうちに建てられるのです」エペソ4：16。

4. 先行する神の愛、恵み、交わりを心から感謝したい。「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世（私達）を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである」ヨハネ3：16。「自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われました。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるためです。キリストの打ち傷のゆえに、あなたがたは、いやされたのです（罪が赦され、神との関係が回復した）」Ⅰペテロ2：24。「主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがたすべてとともにありますように」Ⅱコリント13：13。この15年間も、これからも永遠に変わらない愛で神に愛されて生きる事が出来る恵みを感謝したい。

5. 「私の神は、キリスト・イエスにある栄光の富をもって、あなたがたの必要をすべて満たしてくださいます」ピリピ4：19。この約束を、これまでも御真実に守られ、これからも必要を満たして下さる恵みを感謝します。「私たちすべてのために、ご自分の御子をさえ惜みせずに死に渡された方が、どうして、御子といっしょにすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがありましょう」ローマ8：32。「神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうす

れば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます」マタイ 6：33

6. 「すべて疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」マタイ 11：28。

「あなたの重荷を主にゆだねよ（悩み、重荷をすべて主に祈りを通して打ち明けて注ぎ出して、主にお任せする）。主は、あなたのことを心配してくださる（あなたの悩みを理解し、受け止めて下さり、御心のままに働いて下さる）」詩篇 55：22。

「ほむべきかな。日々、私たちのために、重荷を荷われる主」詩篇 68：19。

「胎内にいる時からになわれており、生まれる前から運ばれた者よ。あなたが年をとっても、わたしは同じようにする。あなたがしらがになっても、わたしは背負う。わたしはそうしてきたのだ。なお、わたしは運ぼう。わたしは背負って、救い出そう」イザヤ 46：3-4。

「彼らが苦しむときには、いつも主も苦しみ、ご自身の使いが彼らを救った。その愛とあわれみによって主は彼らを贖い、昔からずっと、彼らを背負い、抱いて来られた」イザヤ 63：9

「何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます」ピリピ 4：6，7。

7. この素晴らしい神の御言葉を日々、読み、味わい、分かち合える恵みを感謝したい。

「幸いな人よ。…その人は主のおしえを喜びとし、昼も夜もそのおしえを口ずさむ（思い巡らす）」詩篇 1：2。

「キリストのことばを、あなたがたのうちに豊かに住ませ（御言葉の恵みを分かち合い）、知恵を尽くして互いに教え（御言葉から教えられた真理を）、互いに戒め（御言葉からいただいた戒めを分かち合い）、詩と賛美と霊の歌とにより、感謝にあふれて心から神に向かって歌いなさい」コロサイ 3：16。

8. 教会の15周年に、御言葉を「分かち合い祈り合うグループ」が、この5月に発足させて下さった主に心から感謝したい。聖書は、個人的な神との交わりの祈りと教会の互いの交わり、祈り合う事の両方を大切にするように教えている。御言葉と祈りが共にある事は幸いである。御言葉が土台となり、交わりと祈りが、主から、ずれないで導かれる。「もし、あなたがたのうちふたりが、どんな事でも、地上で心を一つにして祈るなら、天におられるわたしの父は、それをかなえてくださいます。ふたりでも三人でも、わたしの名において集まる所には、わたしもその中にいるからです」マタイ 18：19，20。主（御言葉）を中心とした集まり、交わり、祈り合う中で、私達は、本当に、主がその中におられる臨在を感じることができる。祈りのグループ、執事会、試問会の中でも。「あなたがたは、互いに罪を言い表し（自分の罪、弱さを出して、祈り合える交わり、お互い完全な者でなく、主の姿に変えられる途上の者の集まりの教会という自覚、神は告白する罪を愛をもって赦して下さる）、互いのために祈りなさい。いやされるためです。義人（完璧な人の事ではなく、自分の罪を告白し神に赦される者）の祈りは働くと、大きな力があります」ヤコブ 5：16。15周年を感謝し、これからも祈り合って主と共に歩みましょう！「わたしは（主）、…わたしの教会を建てます」マタイ 16：18